

のお知らせ

●問い合わせ●

鴻巣保健センター ☎543-1561、FAX 543-5749

吹上保健センター ☎548-6252、FAX 549-2696

※鴻巣保健センターに車でお越しの方は、市役所
駐車場をご利用ください

胃がん・肺がん・結核検診

マスクの着用等、感染症対策に
ご協力ください

共通事項

とき・ところ／下表のとおり

受付時間／①8時30分～9時 ②9時30分～10時

③10時30分～11時 ※①は各保健センターのみ

対象／市内在住で40歳以上の方（昭和57年4月1日以前生まれ）

注意事項／勤務先で受診する方や妊娠中の方（妊娠の可能性のある方を含む）は受診できません。やむを得ず異性の検診日を希望する場合は、受付時間③の最後となります

申込み／各申込開始日の9時以降に電話で鴻巣・吹上保健センター

【女性の方】

会場	検診日	申込開始日
鴻巣保健センター	10月1日(金)・3日(日)・18日(月)	8月23日(月)
川里生涯学習センター	9月2日(木)	8月20日(金)
田間宮生涯学習センター	9月16日(木)	
あたご公民館	10月21日(木)	8月19日(木)
吹上保健センター	9月8日(水)・11日(土)・22日(水)・10月20日(水)	

【男性の方】

会場	検診日	申込開始日
鴻巣保健センター	10月2日(土)・4日(月)・19日(火)	8月23日(月)
川里生涯学習センター	9月3日(金)	8月20日(金)
田間宮生涯学習センター	9月17日(金)	
あたご公民館	10月22日(金)	8月19日(木)
吹上保健センター	9月10日(金)・23日(祝・木)* 24日(金)	

※4月に配布した「健康づくりメニュー」と日程が変更となっています

肺がん・結核検診

定員（1日あたり）／各保健センター＝90人、
保健センター以外＝60人

費用／100円 ※喀痰検査は後日300円

検診内容／問診・レントゲン撮影等

胃がん検診

対象とならない方／○食道・胃・小腸・大腸等の開腹手術等の治療中や経過観察中 ○過去の検診でアレルギー症状が出た ○腎不全や心疾患のために水分制限がある ○常時在宅酸素吸入をしている ○重度の便秘症 ○高熱や全身衰弱がある

定員（1日あたり）／各保健センター＝72人、
保健センター以外＝24～48人

費用／500円 ※生活保護受給証持参で無料

検診内容／問診・バリウム造影検査

持ち物／水

その他／開腹手術経験者やお腹に違和感がある方は、医療機関での受診を強くお勧めします

注意事項／（●前日・◎当日）

- 飲酒しない
- 20時（就寝3時間前）までに食事を済ませる
- 20時以降にのどの渇きが強い場合は、コップ1杯（150～200cc）程度の水分補給（水又はお湯）は可
- ◎のどの渇きが強い場合、検査の3時間前までであれば、150cc程度の水分補給（水又はお湯）は可
- ◎飲食（ガムや飴等を含む）や喫煙は控える
- ◎降圧剤などの薬を服用される方は、事前に主治医と相談。当日の朝に服用した場合は、会場の受付で伝えてください
- ◎検査後にバリウムの排泄を促すため下剤を飲みます。その後に長く腹痛等が続く場合は、医療機関受診をお勧めします

学校法人北里研究所

北里大学メディカルセンター

「人間ドックのご案内」

1年に1度は健康チェックをしませんか!!

【料金】

一般基本コース

1日(日帰り) 66,000円

※契約健康保険組合等からの補助がある場合は、コース及び金額が変わります。契約内容についてはお問い合わせ下さい。



【オプション検査】

胃カメラ	3,300円	頭部MRI/MRA	22,000円
胸部CT	11,000円	頸動脈エコー	6,050円
婦人科検診	7,700円	マンモグラフィー	4,950円

※その他にも多数ございます。詳細はお問い合わせ下さい。

【ご予約・お問い合わせ先】

☎048-593-1227(直通)・☎048-593-1212(代表) 北本市荒井6-100
月～金曜日10:00～16:00、土曜日10:00～12:00(第1・3のみ) ※第2・4土曜日、日曜日・祝日は休診

広告





保健センターからの

がんワンストップ電話相談

働くがん患者の方の治療と仕事の両立を支援するため、複数の専門職による相談会を開催します。

とき／8月6・25日（金・水）、9月9・22日（木・水）

※時間はいずれも18時15分～20時30分。10月以降の日程は県HPへ

対象／県内在住又は在勤で、就労中（休職含む）のがん患者の方

費用／無料

その他／感染症予防のため、当面は電話による相談を実施しています

申込み・問い合わせ／電話又はメールで県疾病対策課

（☎048-830-3651・メール/a3590-06@pref.saitama.lg.jp）

▼詳細は県HPをご覧ください



県HPの電子フォームからも申込みできます



健康生活

スマホと視力

近年、スマートフォンやタブレット等の電子機器の発展により、世界的に近視人口が急増していることが問題となっています。

視力低下の原因は2つあり、1つは眼球の長さ（角膜から網膜までの距離）が正常より長い又は短いために、網膜にピントが合いづらくなること、もう1つは水晶体の厚さや屈折率の調節がうまくいかなることです。このような状態を屈折異常・調節異常といいます。屈折異常には、次の3つの種類があります。

- ① 近視（網膜より手前に光の焦点が結ばれてしまい、近くは見えても、遠くのものが見えなくなる）
- ② 遠視（網膜より後ろに光の焦点が結ばれてしまい、近くも遠くもピンぼけになる）
- ③ 乱視（屈折した光が一点で焦点を結ばない状態。近くも遠くもピンぼけになる）

対する悪影響があるとも報告されています。この現状に対し、現在、世界各国では屈折矯正（特殊な眼鏡等で調節を補正する方法）と、薬物（目薬により調節を麻痺させる方法）による、近視の進行を抑えるためのさまざまな治療が検討されています。その中でも私達が取り入れやすい対策例として、次の4つを紹介いたします。

【対策例】

- ① 1日2時間は野外活動をしませう（野外活動時間は近視進行の抑制と関連があり、1日1時間多く活動することで13%近視を減少させる作用があるとの報告があります）
- ② 近くの物を見る時は30cm以上離して見ませう。また左右の目のどちらかが物に近い状態にならないよう、均等な距離で見ませう
- ③ 読書・スマホ・ゲーム等は1時間続けたら5〜10分程休み、外の景色を見たり、外に出てリフレッシュしませう
- ④ 規則正しい生活（早寝早起き）を心がけませう

以上の点を踏まえて、現代の近視化社会と向き合っていくことが大切です。しかしその他の原因により、近視が進む場合もありますので、著しく見にくさがある場合には、一度眼科の受診をお勧めします。（一般社団法人 鴻巣市医師会）

鴻巣典礼センター
（自社式場）

県央みずほ斎場
（公営式場）



新型コロナウイルス感染予防対策実施中

安心の地元業者 エビスヤ葬儀社

地元鴻巣で80年の実績と経験

葬儀のコースは15万円コース～5つのコースから選べます

JAIほくさい指定業者
鴻巣市商工会指定業者

☎0120-42-5225 鴻巣市人形 1-5-15
24時間 365日対応

エビスヤ葬儀社 検索

